

# 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和4年4月14日

公表:令和4年4月23日

事業所名 放課後等デイサービス 夢来

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	14	0	0		
	2	職員の配置数は適切である	13	1	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	12	1	1	・段差はほとんどなく、バギーや車いすがスムーズに移動できるよう配慮されている。トイレ内は、便器横に手すりがついており、出し入れ可能で便利。車いすも便器近くまで寄れるスペースが確保されている。 ・廊下も、車いすやバギー、その横に介助者が付けるだけの幅が、十分に確保されている。	*お風呂場に、リフトがあると入浴しやすいとの意見もあるため、今後の課題とします。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	4	0	・職員会議を通して、現状報告、今後の改善内容について話し合う機会が設けられている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12	2	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	4	1		* 例年、書面公開しておりましたが、今年度は、HPでも公開させて頂きます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9	4	1		* 当事業所は、提供するサービスの第三者評価の実施は致しておりません。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12	2	0	・嘱託医による「てんかん、発作に関する勉強会」実施。・外部の装具関係者による「体幹、外典装具の装着方法に関する勉強会」を実施。 ・研修に参加した職員が資料を持ち寄り、各自で自己学習に取り組んでいる。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	14	0	0	・保護者との面談、ケース会議を定期的実施している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	5	1	・日々、経過記録を書き、情報共有している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	2	3		* 朝礼にて情報共有はしておりますが、引き続き、必要に応じて業務開始前にミーティングを行うようにします。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	6	1	・その都度、職員間で意見を出し合って検討するようにはしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	5	2	・大まかな課題は設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	12	2	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	3	1	・長期休暇以外においては、朝礼にて確認、周知している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	9	2	・経過記録を記入し、情報共有はしている。	* 送迎の関係で、振り返りについては、できない日もあります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12	2	0	・利用者退所後、必ず支援記録に記入を行っている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	14	0	0		* 概ね6ヶ月に1度、見直しを行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	8	1			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	14	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	14	0	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	14	0	0	・医師の指示書をコピーしたものを頂いている。	* 必要に応じて主治医訪問やカンファレンスに参加させていただいております。また、2か月に1度、嘱託医が訪問してくださり、情報共有し合いながら、連携を取らせて頂いています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	4	1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	11	3	0		* モニタリング表という形で、引継ぎ書類を作成していますが、個々の必要に応じて、具体的な情報共有にも対応していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	2	2		* 積極的に、助言や研修を受けていきたいと考えています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	10		* 今後、計画していきたい。が、子どもの障害の特性上、体調面に配慮が必要な児童も多く、特にコロナ禍においては難しい現状があります。施設周辺の散歩を通して、挨拶を交わしたり、夢来2号店の児童とは、時々交流しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	6	6		* これまでは、法人としての参加はしていません。施設としても積極的に参加したいと考えています。R3年度はコロナ禍のため、書面形式のアンケート調査等に答える形での参加はさせて頂きました。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	13	1	0		* アカウントLINEを導入してから、より細やかに情報共有ややり取りが行えるようになってきたと思われま。動画や写真で伝えられるようになったことも大きいと感じています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	7	5		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	13	1	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	13	1	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	5	1		* 6月に保護者様同士や職員も交えた茶話会を予定しております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	13	1	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12	1	1	・ブログを活用し、定期的に情報発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	14	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	14	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	5	1	8	・行事招待等はないが、地域の方とはオープンに接している。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	13	1	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	14	0	0		* 防災担当が主となり、年に2回の避難訓練を実施しました。 2回目の避難訓練では、消防士さん立ち合いの元、消火訓練や実際に避難訓練の様子を見て頂いて、ご指導いただきました。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	14	0	0	* 年に1回のセルフチェックリストを皆さんに回答していただいている。	* 虐待防止担当が主となり、定期的な内部虐待研修を実施しています。外部の虐待防止研修にも積極的に参加しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	13	0	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	4	1		* 保護者様の意見に従って行っています。基本的に、アレルギーのものは提供いたしておりません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	14	0	0	・ファイリングし、職員全員に周知している。	

